

CRASEED NEWS



発行:NPO 法人 リハビリテーション医療推進機構 CRASEED / 年3回発行 / 第30号(2015年9月12日発行)
〒560-0054 大阪府豊中市桜の町3-11-1 関西リハビリテーション病院内 TEL 06-6857-9640 <http://craeed.sakura.ne.jp/>

no. 30

第52回日本リハビリテーション医学会学術集会（新潟）報告

未来へと続く リハビリテーション

2015年5月28日から30日の3日間、新潟市朱鷺メッセで第52回日本リハビリテーション医学会学術集会が開催されました。

学会には2日目からの参加となりましたが、会場全体の活気に圧倒されました。ポスター会場は2つあり、たくさんの演題が掲示され、活発な議論が展開されていました。また、講演会場に入りきれずに、外から講演を聞いている方も多くいました。

まず「がんのリハビリテーション エビデンス&プラクティス」のシンポジウムを聴講させていただきました。ガイドライン作成までの経緯や、各リハビリの推奨グレード、実践方法が解説されている「がんのリハビリテーションベストプラクティス」の説明があり、今後ますますがんリハのニーズが高まっていくという内容でした。教育講演は道免先生が座長をされました Stephen Scott先生の「Potential of robots as next-generation technology for neurological assessment」を聴講しました。KINARMというロボットを使用して、脳卒中後の被験者の上肢機能を定量化し、健常被験者との比較を示され、ロボットによる感覚・運動・認知機能の評価について講義されました。ハンズオンセミナーは「リハビリテーション科医に必要な臨床神経生理」を受講しました。実際の検査手技をビデオカメラで映し、ライブ中継で見ることができるようになっており、電極を貼る場所の同定の仕方、検査時の肢位、刺激をする場所などを一つ一つ丁寧に解説をしながら進めていただきました。また、経頭蓋磁気刺激や痙縮評価に必要なF波、H波の測定方法のデモンストレーションもあり、筋電図や神経伝導検査は非常に苦手意識があ

りましたが、セミナーで習ったことを実践してみようと思いました。

懇親会はたくさんのお出で者で会場が一杯になり大盛況でした。来年の第10回国際リハビリテーション医学会が開催されるマレーシアのプレゼンテーションは、活気に溢れ、素晴らしいものでした。また、市民公開講座で「パーキンソン病の夫の介護を通して」という講演をされた歌手のイルカさんのミニコンサートもあり、生演奏で聴く「なごり雪」は心に沁み入りました。

3日目は「神経科学とリハビリテーション」のシンポジウムを聴講しました。脊髄再生医療におけるリハビリの重要性や、脊髄損傷患者に人工神経接続を活用して、麻痺している下肢の随意歩行機能を再建する講演を聴き、基礎研究と臨床をつなぐことの重要性を改めて実感しました。また、慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室主催の「レジデント企画」に参加させていただきました。4、5人で1つのグループになり、呈示された症例について、解決策をグループで考え、発表するというものでした。どの症例も実際に遭遇しそうな難題であり、解決策も各グループで少しずつ重視する点が違っており、みんなで症例について検討し、意見を出し合うことは本当



に勉強になりました。最後に、市民公開講座の「JAXA宇宙医学研究シンポジウム」を聴講しました。宇宙という微小重力環境では筋萎縮や骨量減少がすすむため、打ち上げ前から、宇宙に滞在中、そして地球への帰還後までリハビリテーションが必要で、実際の国際宇宙ステーションでのトレッドミルやエルゴメーターなどのリハビリの様子を交えての講演は大変興味深く、リハビリテーション医学の幅の広さを改めて実感しました。リハビリテーション医学・医療に携わる者一人ひとりが、日々の臨床や研究で紡いでいることをこの学術集会で発表し、幅広い分野、未来へとつながっていくという、今回のメインテーマ「今を紡ぎ、未来をつなぐ」ということを実感できる素晴らしい学会でした。

このような貴重な機会を与えていただきましたことに感謝いたします。そして、この学会で学び、感じたことを今後の診療に生かしていくことができるよう、がんばりたいと思います。本当にありがとうございました。（兵庫医科大学 宮部由利）

CRASEED 新人紹介



兵庫医科大学
山下泰治 先生

今年度よりCRASEEDに参加させていただくことになりました、山下泰治と申します。私は学生の頃より、裾野の広い神経科学に興味を持ち、初期臨床研修後に九州大学神経内科で研修を開始しました。その間10年目まで神経内科医として脳卒中や神経難病の患者さんの診療をしてゆく中で、嚥下障害や高次脳機能、在宅ケアなどの対応に苦慮することが多く、リハビリテーションの知識が必要不可欠であることを実感していました。約1年半前に兵庫医科大学の門戸を叩かせていただき、そこで道免先生始め、神経科学にも造詣の深い先生方のお話を伺い、先生方の下でリハビリテーションを勉強したいと思いました。この度4月より兵庫医科大学病院で勤務させていただいております。私は兵庫医科大学に縁もゆかりもなかったため、様々な不安の中で診療をスタートしましたが、CRASEEDの皆様が温かく迎えてくださり、本当に感謝しております。浅学非才の身ですが、皆様のお役に少しでも立てるように頑張ります。今後ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。



兵庫医科大学
宮部由利 先生

2015年4月より兵庫医科大学リハビリテーション科に入局させていただきました。現在、兵庫医科大学病院で勤務させていただいております。医局の先生方をはじめ、セラピストや秘書の皆さまにはいつも本当にお世話になっております。

初期研修修了後、小児科医として働いておりました。小さく産まれた赤ちゃんが生命の危機を乗り越えて退院した後、運動発達が遅れてきたり、重度の障害を持って生まれ、ずっと家に帰ることができない子供たちをみている中で、治すことはできないけれども子供たちの可能性を広げることができるのがリハビリテーションではないかと思い、勉強したいと考えるようになりました。

リハビリテーション科で働きはじめて4カ月ですが、様々な疾患の患者様にリハビリが必要とされており、改めてリハビリの世界の奥深さや必要な知識の幅広さに圧倒されています。これから一生懸命勉強し、診療に取り組んでいきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



兵庫医科大学
ささやま医療センター
波戸本理絵 先生

はじめまして。現在、兵庫医科大学ささやま医療センターで働かせていただいております波戸本理絵と申します。

同じ兵庫県は南西部にあります赤穂市民病院にて2年間の初期研修を終え、本年度より、兵庫医科大学レジデントして新たなスタートを切らせていただきました。

2年間の初期研修において急性期の診療に携わらせていただく中、良くなるように前を見据えるリハビリ中の患者さんの姿に励まされることが少なくありませんでした。そういった中で、自分が今後やりたいことを踏まえて考え、本年度からの進路を決めさせていただきました。

とはいいいましても、リハビリテーション科の知識は全くもって未熟であり、医師としてまだ3年目でそもそもの医療の臨床経験も少なく不安も多ありますが、毎日を大切に精進してまいりますので、今後ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

CRASEED 2015年度 セミナー情報

※ 直前の場合は当日申込み可。会場は全て兵庫医科大学。

2015年 9月13日(日)	嚥下リハビリテーションとオーラルマネジメント
9月19日(土)	徹底討論! 脳科学とニューロリハビリテーション 講師: 森岡 周(畿央大学大学院 教授)、今水 寛(ATR認知機能研究所 所長) 道免和久(兵庫医科大学リハビリテーション医学 主任教授/NPO法人CRASEED代表)
9月19日(土)~21日(月・祝)	第15回兵庫医科大学 呼吸リハビリテーションセミナー
9月20日(日)	実践CI療法講習会
2016年 1月30日(土)	CRASEEDアドホック講演会 「原点回帰」 リハビリテーション講演会とハーブのミニコンサートで心身ともに原点回帰を図る講演会。 基調講演: 道免和久(兵庫医科大学リハビリテーション医学 主任教授/NPO法人CRASEED代表)/演奏: 平尾祐紀子/語り: 関 恵子(言語聴覚士)、定政由里子(臨床心理士)
1月30日(土)	西日本公式第11回 ADL 評価法FIM 講習会
2月27日(土)~28日(日)	呼吸理学療法実践セミナー

【申込方法】

<http://www.crased.jp/> または、<http://neuroreha.jp/> の申込専用フォームよりお申し込みください。追って、詳細をご連絡いたします。ご不明な点がございましたら、CRASEED事務局までお問い合わせください。 E-mail: office@crased.org